

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立松梅小学校

4月から5月にかけて、文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童・生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

調査期日 令和8年4月23日（木）

（注）質問調査については、オンライン方式（CBT方式）のため、調査日を分散して実施

調査の対象学年 小学校第6学年

調査の内容

（1）教科に関する調査

国語、算数

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記①と②を一体的に問っている。

（2）質問調査（1人1台端末を用いたCBT方式）

児童生徒に対する質問	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校に対する質問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

教科に関する調査結果及び考察について

・全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に、国語、算数・数学、英語について実施されています。

・また、調査問題は、各教科の一部の内容について出題されているものであり、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」です。
したがって、調査結果を見る際には、この点をご理解いただいた上で、ご覧ください。

質問
調査

佐賀市学校教育ビジョンに関わる設問より（キーワード：自律・尊重・創造・主体性・当事者意識）

《質問領域：主体的・対話的で深い学び》

（注）数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）

質問 番号	質問事項	本校 (%)	全国 (%)
39	前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	77.8	77.6
42	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	85.2	85.7
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	92.1	91.4

本校の調査結果 ※◎（強み）、●（課題）

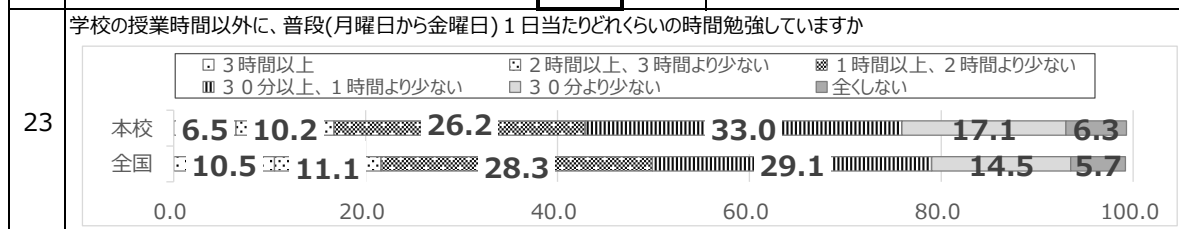
◎ 目的や課題を意識して、自ら進んで学習に取り組もうとする姿が見られます。

◎ 互いの考えを出し合い、認め合い、協力することで、一人では気付かなかった考えや解決方法を生み出し工夫しようとする意識が高い傾向が見られます。

● 自分の考えを整理して伝える力と、他者の考えや受け止め、比較・関連付けながら自分の考えを深める力を高める必要があります。

《質問領域：主体的な学習の調整、学習習慣》

22	分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	82.1	79.4
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	80.4	78.4



《質問領域：自己肯定感、幸福感 等》

8	自分には、よいところがあると思う	86.0	85.6
10	将来の夢や目標を持っている	81.3	81.8
15	学校に行くのは楽しいと思う	85.1	85.7
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.7	92.5

本校の調査結果 ※◎（強み）、●課題

◎ 多くの児童が自信をもって学習に取り組み、他者との対話に積極的に参加している様子がうかがえます。

◎ 社会への関心や貢献意識が高く、他者と協力しながら解決に向けて行動しようとする力が育っています。

● 小さな成功体験や達成感を積み重ね、自己の可能性や将来への見通しをもてるような支援が必要です。

《質問領域：向社会性》

14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	95.8
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	80.2	80.1

調査結果を受けて

【学校では】

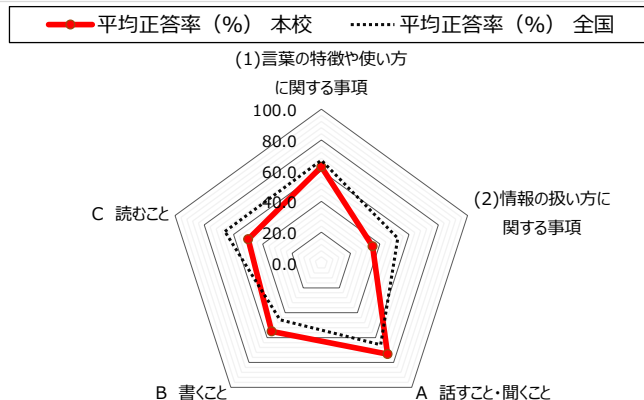
- 子どもが自分の考えをもって対話に参加し、多様な考えを比較・関連付けながら、自分の考えを広げたり深めたりする授業を進めます。
- 調べ方、まとめ方、発表方法などについて、子どもが選択できる場面を設けます。
- 学習の終わりに「何ができるようになったか」「次に何を調べたいか」等の振り返りをさせ、自分の学びや成長を実感し、次の学習に生かそうとする主体性を育てます。

【ご家庭では】

- 家族との会話を大切に、「どうしてそう思った？」「今日は何が分かった？」と子どもが考える機会を増やす問いかけを心がけてください。
- 結果だけでなく、挑戦したことや前回からの変化にも目を向け、認め励ます声かけをお願いします。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容		平均正答率 (%)	
		本校	全国
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	62.5	66.8
	(2)情報の扱い方に 関する事項	35.0	52.3
思考力、 判断力、 表現力 等	A 話すこと・聞くこと	73.3	65.8
	B 書くこと	55.0	45.7
	C 読むこと	50.0	65.9



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	56.7	61.9
短答式	55.0	62.6
記述式	65.0	54.9

結果 ※◎（強み）、●課題

◎ 読み取った内容を基に、自分の考えを整理したり、根拠を明確にして表現したりする力は概ね身についています。

● 文章から必要な情報を読み取り、内容を理解する力に課題が見られます。

《正答率の高い問題》【強み】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
1 二 (3)	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる	90.0	65.2
2 四	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	50.0	33.5

《正答率の低い問題》【課題】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
3 二	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	20.0	55.6
3 三 (1)	目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる	20.0	55.5

調査結果を受けて

【学校では】

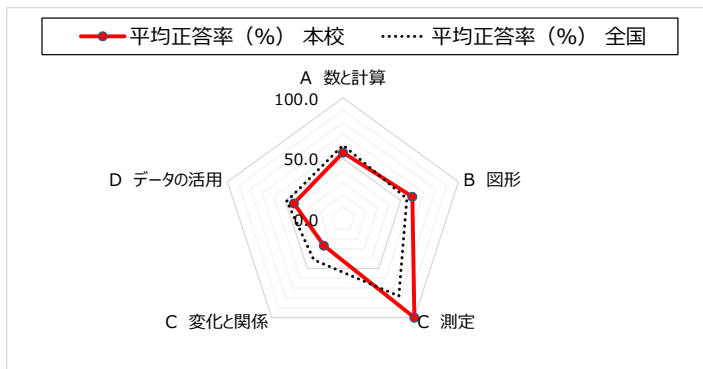
- 文章を読み、構成を読み取る学習活動を充実させます。
- 文章を読み、要旨を捉える学習活動を充実させます。

【ご家庭では】

- 音読の宿題を聞いて、内容に関する質問をしてみてください。
- 本や新聞などの文章に触れる機会を作ってください。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容	平均正答率 (%)	
	本校	全国
A 数と計算	55.0	61.1
B 図形	60.0	55.3
C 測定	100.0	78.1
C 変化と関係	26.7	41.1
D データの活用	42.5	48.6



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	48.0	56.0
短答式	70.0	59.7
記述式	33.3	48.5

結果 ※◎ (強み)、●課題

◎基礎的な知識・技能の定着が見られます。

●答えを求めることに加え、「なぜそうなるのか」を説明することに課題が見られます。自分の考えを相手に伝える経験をさらに積み重ねる必要があります。

《正答率の高い問題》【強み】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
1 (3)	体積の意味について理解しているかどうかをみる	70.0	40.1
4 (2)	示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる	100.0	78.1

《正答率の低い問題》【課題】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
1 (4)	日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	10.0	45.2
2 (4)	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる	10.0	34.2

調査結果を受けて

【学校では】

- 考え方や根拠を説明し合う活動を通して、思考力・表現力の育成を図ります。
- 文章や表・図・グラフを読み取るような応用問題に取り組む学習を充実させます。

【ご家庭では】

- 学校の学習内容と日常生活を結び付けた言葉かけをしてみてください。
- 分からないことがあったときは、すぐに答えを教えるのではなく、一緒に考えたり調べたりする時間を大切にしてください。